



柔道合宿 in 東海大学

アッサラームアライクム！

2016年12月18日(日)、私の引率する UAE チームはドバイ国際空港から日本へと出発しました。柔道合宿を主体とし、柔道を通して国際交流も重ねて行いました。私にとって、チーム監督としての初めての遠征でしたので、壁に道を遮られる場面も多々ありました。その都度、東海大学様、NPO 法人柔道教育ソリダリティー様、SANIX 国際柔道大会関係者の皆様他に支援していただきました。私たち「UAE 柔道」に足りない部分を多く見つけることができた貴重な柔道合宿が出来たと感じております。今回は、この日本での柔道合宿についてお話しさせていただきます。

今回の日本遠征(2016年12月18日～29日)では、12歳から14歳の選手7名と15歳から18歳の選手6名の合計13人の選手を引率しました。私の他に、UAE 柔道連盟副会長の Mohamed Jasim 氏、そして、UAE 教育省体育専門部署に努めておられます UAE 柔道連盟の Salam Kareem 氏が同行しました。同時期、私が引率するチームとは別に、2015年 SIJE 柔道コーチングセミナーに参加された Mouh Almouh 先生も Fujairah Martial Arts Club (Mouh 先生の道場) から選手4

出来事

・2017年1月13日(金)
に行われたフジェイラマーシャルアーツ(Mouh 先生の教えているクラブ)主催の「フジェイラナショナル柔道大会」では 350 人の柔道選手が集まりました。予想以上に人数が多かったため 10 時開始予定が 13 時 30 分開始に。。。アラブタイム発揮しています！(笑)日本 (SANIX 柔道大会)に負けじとすべての選手の参加を認めたそうです。。。

・2月3日にエミレーツ杯。2月24日にナショナルチャンピオンシップが行われます。

今月のアラビア語

「アカラムカッラ」

意味:ありがとうございます。(食後)

شكرا

シュクラン日記

1月号

人を引率し合宿を行いました。

2016年12月18日(日)、私たちはドバイから東京成田空港へと離陸しました。飛行機の道りは約10時間。UAEから日本までは直行便が運行しています。日本へ到着したのは翌日の17:30頃。光本先生のご配慮でインド料理のレストランを予約していただいたのですが、お腹は空いて居ないということで予約をキャンセル。しかし、東海大学へ向かう道中、お腹が空いたということで結局海老名インターによって頂きました。なんて自由な国でしょうか！しかし、海老名インターには好きな物がないということでバスに乗り込み鶴巻温泉にあるマクドナルドへ。ハラルではないが良いのか聞いたところマクドナルドは良いそうです。流石世界のマクドナルドですね。マクドナルドで光本先生に出迎えていただきました。UAEチームのために、夜遅くまで待っていて下さったそうです。本当にうれしかったです。東海大学の友好会館へ到着し、明日からの合宿へ向けて就寝しました。



19日(月)、この日の午前中、東海大学の地下のトレーニングセンターを特別に使用させていただきました。選手も初めて見る器具や、大学の設備とは思えない綺麗なGYMに驚いていました。選手に「このGYMを使用できるのはプロだけなんだぞ！」と伝えると、選手から「高藤直寿選手もベイカー茉秋選手もここでトレーニングしてるの

か！」という声がありとても喜んでいました。

この後は、東海大学高輪高校へ合宿に来ていたMouh先生と合流し、コムスクエアにてお昼ご飯を頂きました。

山田清志学長へ挨拶できました



東海大学山田清志学長より貴重なお時間を設けていただき、UAEの選手と共に挨拶をさせていただきました。UAEと東海大学が柔道を通して国際交流を行う中で、山田清志学長にご挨拶させていただいたことは大変幸せで貴重なことだったと思います。帰りに「また頑張ってね」と一言お声掛けをいただき、一人でも多く良い選手を育てようと思いました。その選手の中から東海大学へ進学してもらいたいです。

金目中学校との合同練習



この日の夕方は、東海大学の武道館(女子道場)にて、塚田先生のご配慮をいただき金目中学校との合同練習をさせていただきました。お蔭様で金目中学

校と充実した練習が出来ました。

UAE では女子の選手がいないため、唯一の女子選手のメイッサもとても喜んでいました。直ぐに金目中学校の女子選手と打ち解け、彼女自身は更に日本の事が好きになったのではないかと思います。



見てください！いい笑顔ですよ！

練習後に東海大学男子柔道部の練習も少し見学することができました。「あの選手もいる！あの選手もいる！」とテンションが上がる UAE の選手。数々の名選手が練習している中で UAE の選手から特に注目を浴びていたのがベイカー茉秋選手。

「誰かと写真と撮るか？」と質問したところ、やはりベイカー茉秋選手。せっかくなので写真を撮っていただきました。



光本健次先生柔道教室

12月20日(火)、この日は光本健次先生に柔道教室を開催していただきました。光本先生の柔道教室はとてもシンプルで、ウォーミングアップをした後、補強運動に入りました。正しい補強、そして柔道に大切な受け身・体の使い方を光本先生から指導していただきました。UAE の選手は、まだ基本動作の大切さ・必要性を理解していない部分があります。そのため、補強運動・基礎トレーニングの部分が疎かになってしまっています。柔道発展途上の UAE にはとても重要なポイントです。今回の柔道教室で、基礎の重要性を選手が改めて感じ取ってくれていればと思います。



夕方 18:00 からは、平塚市総合体育館にある柔道場で金目中学校との合同練習に参加しました。

東海大学での最後の練習

12月20日(水)朝、友好会館のマネージャーである木下さんより、昨夜 UAE の選手(4名)が暴れていて苦情が来たということで報告を受けました。昨晚のミーティングで意識を変えること。何のために日本に来たのか話したばかりでしたので残念に思いました。暴れていたことを耳にしたモハメド・ジャシミ氏が激怒し「今夜、その4人を UAE へ帰国させる。2年前も同じことをした」と言い始めました。私は、彼らが今日帰ったらまた同じこ

とを繰り返すと思い、モハメド氏を必死に止めました。初めモハメド氏は「大きな事件になる前に帰国させる」と言い、私の話を耳にしてくれませんでした。そこで、木下さんに助けを頂き、一緒に話し合いました。その後、「何か事件が起きた時は責任とれないぞ」と言われましたが何とか納得していただくことができました。

この日のスタートは遅れましたが、予定していたランニングトレーニングを行いました。友好会館から東海大学の噴水までランニングをさせた後、噴水の下から左上がりダッシュを7本、半分から5本ダッシュをしました。UAEの選手にはこれが限界でした。トレーニングをして「ゼゼゼ」ときつそうにしているのを見ると、もっとやらせたい私ですが今回はトレーニングを終了しました。

お昼は建学塾の上の通りにできたネパール料理に行きました。ハラルフードしか食べることでできないUAEの選手にとって海外の食事はとても困難なものです。見た目で判断するため食わず嫌が多いので、我々コーチ陣にとっても食べ物を探すのは一苦勞です。今回使用させていただいたネパール料理のレストランも一か八かの勝負でした。しかし、行くとすぐに注文を始め、料理が来ると一目散に料理を頬張っていました。日本人の舌にも合う味でとても美味しく頂きました。



最終日、夕方の練習は再び女子柔道部の柔道場を半分お借りし、金目中学校との合同練習を行いました。最終日ということで打ち込みと乱取りを多くしていただき、金目中学校の生徒と多く組めるように練習をさせていただきました。

いざ福岡へ！



12月22日(木)10時、光本先生と木下さんに見送られ東海大学国際友好会館を出発しました。今回も友好会館では大変お世話になりました。木下さんの包容力にはいつも助けていただいています。光本先生もUAEの選手の為にお休みの中わざわざ友好会館までお見送りに来てくださいました。多くの皆さんに支えられ本当に幸せです。

福岡で行われるSANIXへ参加するため、私たちはMouh先生のクラブと羽田空港で合流し、羽田空港から福岡へ飛び立ちました。UAEのチームは待つことと歩くことになっておらず、羽田空港の利用者を見てびっくりしていました。チェックインの列を見て終始「私たちはUAEの代表チームだ。優先はしてくれないのか。」と言っていたくらいです。ドバイの空港では、国民であるのモハメド氏の顔が利くため全て空港のスタッフがやってくれました。ここは日本ですのでそう簡単にはいきません。チケットも団体用ではなく個人用のチケットだったため団体優先にも行くことはできません。

機嫌を損ねると帰国してしまう可能性も有りそうだったので、私はANAのスタッフに頼みに頼み込み、違うカウンターで特別にチェックインしていただきました。

昼前に出発し、ようやく福岡に到着した私たちはとてもお腹が空いて居ましたが、バスの中で食べるのは食べ散らかすということで難しく食事の手配について今後の課題だと感じました。

SANIXが開催されるグローバルアリーナに到着。到着日は、夕食を食べ明日に向けすぐに就寝しました。私とMouh先生は生徒が寝静まるまで見ていましたが、中学生と高校生ということで、お決まりの夜更かし。。。どこの国も一緒ですね！私も彼らと同じくらいの時は全く寝ない生徒でしたので、彼らの気持ちがよくわかります。彼らが寝たのは午前2時ごろでした。

12月23日(金)、この日から一週間グローバルアリーナにてSANIX国際柔道大会・合宿が行われました。期間は28日(金)までの一週間、大会は26日に行われました。世界各国(USA・中国・マレーシアなど)から柔道チームが集結し、日本の日本の選手を合わせると約900人の選手が大会に参加しました。



柔道合宿は、23日～25日の3日間。地元の中学生や東海大学福岡高校の選手の皆さんと合同練習を行いました。UAEの選手は大人数で行う合同練習、乱取りの多さ、打ち込みの時間など、いつも

行う1回の練習(1時間半弱)の練習の倍の練習(3時間)に驚きながらも楽しんで柔道をしていました。

25日(日)試合前日、私はこの日、午前中を休みにしようか悩んでいました。18日に日本に来てから本日まで休みなしの練習の毎日でしたので、気分転換にショッピングに連れていき、午後に少し調整練習をしようと考えました。前日(24日)にモハメド氏とサラム氏にも相談し、お2人に同意していただきました。

しかし、試合日前夜のミーティングで彼らに話すと、彼らは「俺らはショッピングよりもトレーニングがしたい」とはっきり言いました。私も思わず気合が入りました。夜でしたが予定が変わったことをモハメド氏とサラム氏に報告しました。お2人は笑いながら「そんなわけない」と私を冗談交じりで疑っていましたが、聞く話によると、選手から練習をしたいと言い出すのは初めての事だそうです。お2人も大変喜んでおられました。益々私にも気合が入り、25日のトレーニングでは選手の足が震えるくらいランニングをさせてしまいました。

今回、色々にご迷惑をおかけしましたが、講師で来られていた朝飛先生や釘崎先生にも私の選手をお見せできたことは大変喜ばしく思います。先生方に「彼女/彼は打ち込みが上手いねー」とおっしゃっていただいた時は本当に嬉しかったです。素直について来てくれている生徒に感謝しました。

朝飛先生に選ばれ、参加していた選手の前で皆のお手本になった選手もいました。私も嬉しかったのですが、この選手はもっと嬉しかったのではないのでしょうか。

12月26日(月)、SANIX国際柔道大会当日。この日は1000人弱の選手が試合をしました。朝、参加人数を見たモハメド氏がとても驚いていました。100人以上の参加者で手いっぱいUAEでは考え

られない人数だったのではないのでしょうか。

更に日本の大会は、時間通りに進み、次々と試合が進行する無駄のない運営ですので、モハメド氏は試合の事より運営の仕方に興味を持っておられました。試合相手の大きさも違いました。軽量級の選手が居れば、私たちの相手のような大きな選手もいます。日本の本当の柔道を始めて見たモハメド氏とサラム氏は、試合相手について、始めはアンフェアだとおっしゃっていました。一般的に考えてみれば、50kg級の中学生が90kgの中学生に勝てるわけがありません。実際に2人からそう言われました。しかし、私は彼らに本当の柔道の面白さを知ってほしいと思っていましたので、「小さい者が大きい者を投げるから見てください」と言いました。

チームは重量級の選手ぞろいの強豪校「埼玉栄高校」と初戦で当たってしまい惨敗して強いました。しかし、UAEチームは軽量級にもかかわらず、攻めの姿勢が見られました。私が彼らだったら「怪我をする前に、いかに上手く投げられるか」考えますが、彼らには「倒してやろう」という意思が見られました。あの日、闘争心だけはどのチームにも負けてないでしょう。

初戦で負けてしまい、まだ物足りない選手を連れ練習会場である武道館へ行きました。武道館では大会で敗退したチーム同士で練習試合を行っていました。ここで多くの選手と試合をすることができました。同じサイズの選手、小さいけどポテンシャルのある選手、UAEの男子と日本の女子の選手で試合をさせたりもしました。UAEの選手は「何で俺が女子とやらなきゃいけないんだ。男子とやるんだ。」と言っていました。私は「気を付けろよ。」とだけ言い試合場へ送り出しました。

結果、有効を1つしか奪うことができず涙ながらに帰ってきました。。この練習試合において、

「力の弱い者が力の強い者を倒すから柔道は面白い。」と彼らに教えることができました。彼らも学ぶことが多くあってことでしょう。



試合翌日は丸1日親善試合を行いました。日本特有の練習試合。選手からは「俺は出れる？私は出れるの？」という質問がありました。「みんな出るから心配するな。今日はハードな1日だぞ！」と伝えました。言葉通り、全員約10試合ほどをすることができました。実戦の方が好きな彼らは疲れた顔をしながらも必死に日本人選手に向かいしました。初めは勢いがあり日本人選手にも劣らない戦いでしたが、後半になるにつれ日本人選手に敵わなくなっていました。「コーチ！何故投げれない？何が駄目なの？」と質問に来る選手もいました。その都度、指導しながら試合を進めていくと、彼らに変化が現れました。

ミーティングをするようになったのです。前の試合が終わり、次の試合が始まるまでずっと話合っていました。時には日本人の試合を見て、「あの選手はどのような組手、得意技、日本人は姿勢が良い」など。勿論私にも意見を求められました。改めて指導することの幸せと楽しさを感じることができました。生徒の成長を見るのは一番の幸せですね！

長崎観光



12月28日(水)、この日、SANIX 国際柔道大会に参加した海外の選手は、福岡市内のショッピングコースと長崎原爆資料館コースに分けられました。私は Mouh 先生と相談し、UAE チームと Fujailah Martial Art は長崎コースを選びました。以前 Mouh 先生は、2015 年コーチングセミナーで広島に行った際に子ども達に、今柔道ができていますという幸せを伝えていたと思ったそうです。私も同感でした。

現地に到着し、知らなかった選手はショックを受けていました。ある日突然、一瞬にして何もなくなくなってしまう恐怖、悲しさ、今の日本では考えられない出来事です。原爆落下中心地にも行くことができました。資料館で見た写真とは全く違い 70 年は生えないと言われた木が生え今では緑豊かな長崎を見て、選手たちは「日本って強いね」と言っていました。私は何も言えませんでした、
「柔道ができて幸せだろ?」と言いました。我が強く言うことを聞かない子ども達ですが、根は真面目で素直な子たちです。「一瞬かぁ。一本と一緒だなぁ」と真面目な顔をして呟く選手もいました。選手が長崎原爆資料館で何か感じてくれればなと願っています。

今回の柔道遠征で

多くの方の支援・援助の下、素晴らしい経験ができた合宿になったと感じております。2 週間という短期間でしたが、選手の成長も見ることができました。最終日には、選手自ら部屋の掃除をするようにもなったのです！



私の知らなかった選手の一面も知ることができました。私自身も貴重な経験を頂いていると感じております。

改めて、今回援助してくださいました、東海大学、NPO 法人柔道教育ソリダリティー、SANIX、グローバルアリーナの皆さまへ、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

UAE のナショナルチームという肩書ではございますが、まだまだ柔道は発展途上で磨き甲斐のある選手ばかりです。今から何色に染めるかは私次第というようなチームで責任を感じております。これからも、柔道の良さを選手に伝えていけるように私自身も精進してまいります。

長くなりましたがご報告させていただきます。

(UAE 柔道連盟 原口直也)